

すべての学校図書館にクーラーを

市議会議員 (3期) 佐々木とも子



佐々木とも子市議は、学校図書館の環境整備と機能充実を求めました。学校教育部長

は、各学校に図書館標準(備えるべき蔵書数)の100%達成を指導して、図書館へのエアコン整備は来年度からの再開を準備していると答えました。

特別保育料金見直し 大規模学童保育の解消を

学童保育クラブの改善を求めた質問では、子ども生活部長が71人以上の3つの学童保育クラブを、増築などで早期に狭あい化の解消を図っていくと答弁。また、保護者から見直しの声が上がっている数回だけの特別保育(延長保育)料金は、プリペイド方式など他市の例を



参考に検討しているとなりました。

障害者控除対象者認定の 申請書を全対象者に

また、65歳以上の高齢者(要介護1・5)が、確定申告の際に活用できる『障害者控除対象者認定』の申請書を全対象者に送付して、制度のお知らせを個別通知するよう求めました。いきいき健康部長は、広報や高齢者の暮らしの手引きに載せているので、全員への送付は考えていないとしましたが、現在、町田市の要介護認定者のうち課税対象は5280人、そのうち11年度の障害者控除認定を申請した人は927人で、まだ8割の方が利用していないことが明らかになりました。



子どもへの命と人権を守る町田の教育を

市議会議員 (4期) 細野りゅう子



細野りゅう子市議は、社会問題になって

いるいじめ事件を再び繰り返さないために、いじめに対して早期に発見し、毅然として指導をおこなえるよう、学校現場を支えるべきだと求めました。町田市はスクールソーシャルワーカーや児童心理士など専門家を含むサポートチームを立ち上げたと答弁。さらに学校現場やいじめられる子どもたちの役に立つ実行あると取り組みをもとめました。「保護者や子供の相談への対応、学校への訪問などこれから具体的に取り組んでいく」と教育長が答弁しました。



また、いじめる子どもを出停にして学校から排除する罰則は根本的に解決にならないことを指摘しました。一方でいじ

オスプレイ 配備に反対を

市長「何も言えない」

市議会議員 (6期)

とのむら健一



は、10月にも普天間基地に配備が計画されている危険なオスプレイの配備について、沖縄県民がこぞって反対し、全国7つのルートで低空飛行訓練が行われること、厚木基地にも飛来の可能性があることを指摘し、沖縄や全国の人たちと連帯して反対すべきだがどうかとたどりました。

石阪市長は「防衛問題なので何も言えない」と、日米政府のオスプレイ押しつけの立場を追認しました。



(写真)「危険な空はもうたくさん」と声をひとつにする「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」参加者

高ヶ坂・成瀬地区に コミュニティバスを

高ヶ坂・成瀬地域(国際版画美術館経由)にコミュニティバスの早期実現を求めた質問に、担当部長は、「財政的には運行は不可能だが、(公共交通については)他の手法を含めて検討する」と答弁しました。

新庁舎と連動した 大型開発はやめよ

新庁舎建設に伴う問題について、新庁舎周辺の交通状況の把握と改善については、「交通量などの調査を行う」と答弁。新庁舎前バス停に屋根とベンチの設置を求めた質問には、「設置する」と答えました。新庁舎建設の今後の借金返済額は、「80億7千万円」であることが明らかになりました。新庁舎建設と連動した中心市街地の大型開発について、担当部長は、「今は計算できない」と答えました。とのむら市議は、市民には市民サービス削減と有料化を押し付け、大型開発は推進する計画を転換し、市民の暮らしを守るべきだと主張しました。



交通不便地域に 新たな公共交通を

コミュニティバス金森ルートが9月いっぱい廃止になりますが、それに代わる公共交通の運行を求めると、都市づくり部長は「地域特性に合ったものを運行協議会と一緒に検討していく」と答弁しました。地域住民の声を聞いて一日も早く実現するよう求めました。

また、高齢者の居場所づくりを求め、シルバークラブの団楽室の有効活用を求め、部長が「介護予防教室など活用する」と答弁、さらにふれあいサロンや会食会など地域の高齢者に有効利用させるよう求めました。